

加古川市上下水道局

〒675-8588
兵庫県加古川市野口町良野398-1

[経営管理課] TEL.079-427-9319

[お客さまサービス課] TEL.079-427-9284

[施設課] TEL.079-427-9326

[配水課] TEL.079-427-9329

[下水道課] TEL.079-427-9289

中西条浄水場

〒675-1205
兵庫県加古川市八幡町中西条739

TEL.079-438-1324

水道お客さまセンター

〒675-8588
兵庫県加古川市野口町良野398-1

TEL.079-427-9324

加古川市上下水道局ホームページ

<http://suidou-kakogawa.jp/>



加古川市の 水道・下水道



加古川市上下水道局

CONTENTS

- 03 加古川市上下水道局のめざすもの
- 05 水は循環しています
- 07 水道の仕組み
- 11 下水道の仕組み
- 17 上下水道事業の経営
- 18 災害に備えて
- 19 お客さまサービスの充実をめざして
- 20 あゆみ
- 21 データ・資料集

加古川市は兵庫県南部の播磨灘に面し、播磨平野を貫流する県下最大の一級河川「加古川」の河口に位置しています。播磨灘に面する臨海部から、自然豊かな播磨中部丘陵県立自然公園まで変化に富んだ地勢を有しています。



水道庁舎 中西条浄水場 東神吉水源地 安田中継ポンプ場

安心で快適な暮らしを支える水道・下水道 時代の変化を乗り越え 安全な水を未来へつなぐ

水道・下水道のことを知ってもらう
活動を行っています



①防災フェスタ ②すいどう出前講座 ③中西条浄水場市民見学会

安全・安心な水の供給のため
定期的に訓練を行っています



応急給水訓練

広報用の
オリジナルグッズを
作成し、広報啓発を
行っています



加古川市上下水道局
マスコットキャラクター
すいむ
水夢ちゃん

水夢ちゃんの
プロフィールはこちら



水道ビジョン

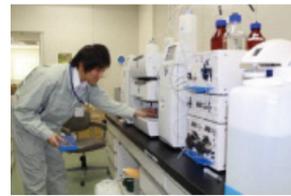
基本理念

時代の変化を乗り越え
安全な水を未来へつなぐ



節水機器の普及、ライフスタイルの変化に伴い水需要が減少傾向にある一方、老朽化施設の更新・耐震化などへの多額の設備投資に加え、今後は人口減少という新たな局面を迎え、水道事業を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増していきます。そのような厳しい状況乗り越え、安全な水道水を供給するという絶対的な使命を途絶えることなく将来へつなげていくため、『時代の変化を乗り越え、安全な水を未来へつなぐ』を基本理念として掲げ、水道事業の運営を行います。

方針	目標	施策
安全 安全で良質な水道水の供給	安全・安心な水づくり	1.適正な浄水処理の実施 2.水質検査体制の充実
	水道水の品質の向上	1.残留塩素の適正な管理 2.消毒副生成物の抑制 3.異臭味対策の強化 4.直結直圧給水の推進
強靱 危機に強く安定供給ができる水道の構築	施設の更新・耐震化	1.浄水場・水源地の更新・耐震化 2.配水施設等の更新・耐震化 3.水需要に応じた水道施設の計画的な更新
	管路の更新・耐震化	1.基幹管路の更新・耐震化 2.配水支管の更新・耐震化 3.更新基準の見直し
	危機管理体制の構築	1.有事対応への備え 2.住民との連携 3.県・他市町等との連携
	施設の機能維持	1.適正な維持管理 2.水道施設台帳の整備・充実
持続 信頼される健全な経営	持続可能な経営	1.将来を見据えた経営 2.経営基盤の強化 3.人材の育成・確保 4.環境にやさしい水道
	お客さまとのコミュニケーション	1.お客さまサービスの充実 2.広報活動の充実



水質検査体制を充実させることで、水質の変動を把握し、異常の早期発見につなげます。



水道水の供給を維持し、災害時にも被害を最小限に抑えるため、耐震化工事を実施しています。



災害や老朽化に対応するため、計画的に管路の更新を進めています。



市内小学校や町内会、高齢者大学などを対象に、水道水ができるまでの過程について中西条浄水場での見学会を実施しています。

下水道ビジョン

基本理念

未来へつなぐ
安心で快適な暮らしを支える下水道



令和7年度を目標に、汚水処理の未整備区域の早期解消に取り組むことと合わせ、大規模地震や多発する集中豪雨などの自然災害に対する備えや、耐用年数を経過した管渠・施設の更新などへの多額の投資が必要です。一方、今後は人口減少という新たな局面を迎え、下水道事業を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増していきます。そのような厳しい状況乗り越え、安心で快適な暮らしを市民の皆さまに世代を超えて提供し続けるため、『未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道』を基本理念として掲げ、下水道事業の運営を行います。

方針	目標	施策
快適 快適な生活環境の創出	下水道普及率の向上	1.未整備地域の早期解消
	良質な水環境の確保	1.水洗化の促進 2.水質監視体制の充実
安心 危機に強い安全・安心な下水道の実現	災害への備え	1.管渠・施設の耐震化 2.浸水対策 3.危機管理体制の構築
	管渠・施設の機能維持	1.適正な維持管理 2.ストックマネジメントの実践
持続 信頼される健全な経営	持続可能な経営	1.将来を見据えた経営 2.経営基盤の強化 3.人材の育成・確保 4.環境にやさしい下水道
	お客さまとのコミュニケーション	1.お客さまサービスの充実 2.広報活動の充実



新たな整備手法も取り入れつつ工期の短縮を図っています。

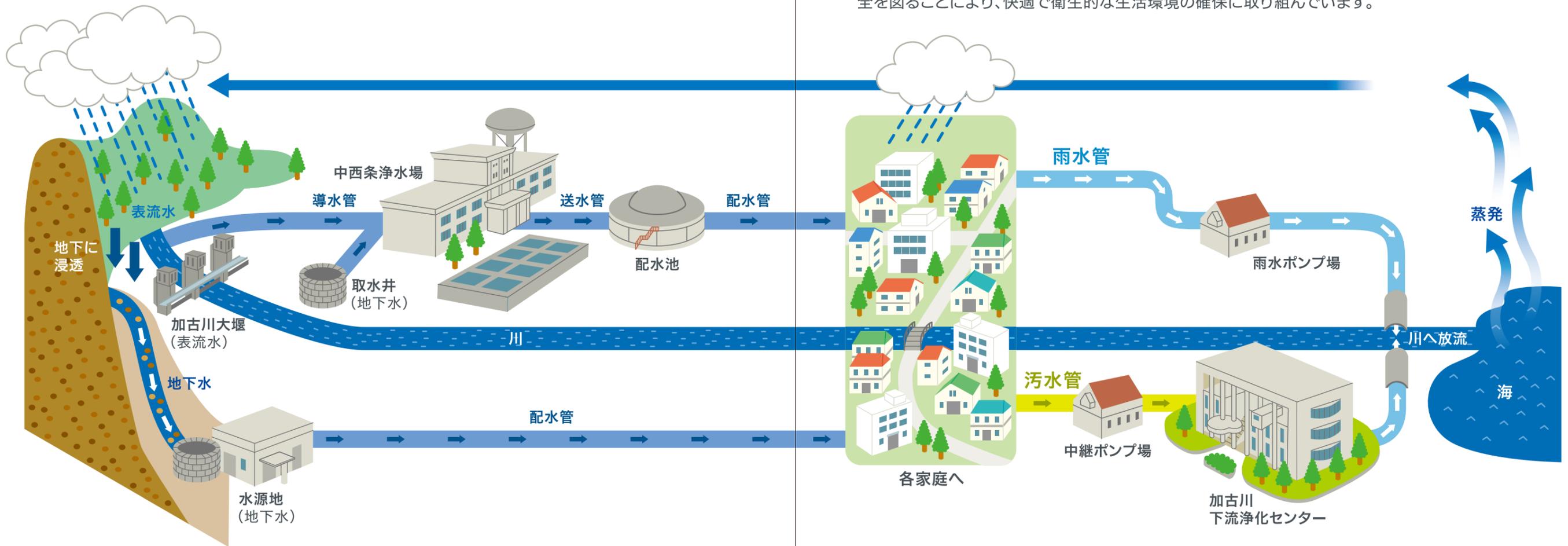


近年は短時間での局地的豪雨が頻繁に発生するなど、浸水被害のリスクが高まっており、様々な対策を行っています。



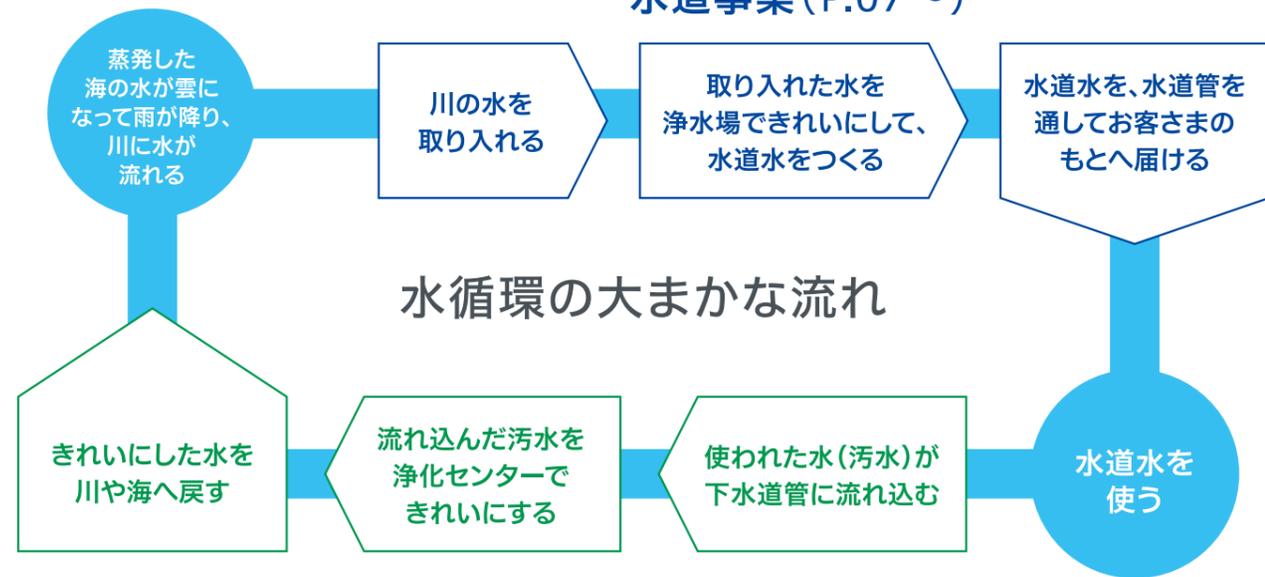
普段直接目にふれることのない下水道に関心をもっていただき、また下水道について広く知ってもらうため、啓発グッズの配布を行っています。

加古川市の水循環

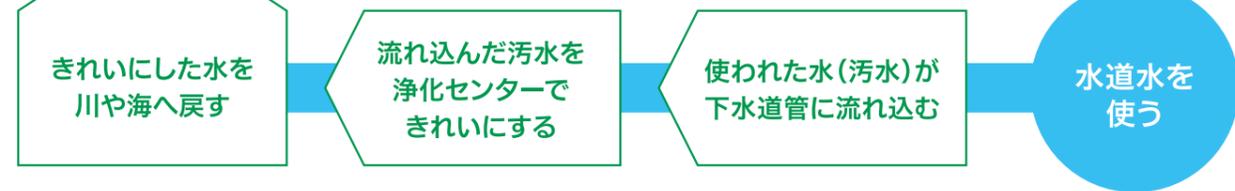


水は、太陽のエネルギーによって蒸発すると、上空で雲になり、雨を降らせます。降った雨が次第に集まり川を作り、海に至るといように、絶えず循環しています。加古川市上下水道局では、安全で良質な水道水を安定的に供給し、家庭で使って汚れた水(汚水)をきれいにして川や海へ戻すなど、公共水域の水質保全を図ることにより、快適で衛生的な生活環境の確保に取り組んでいます。

水道事業 (P.07~)

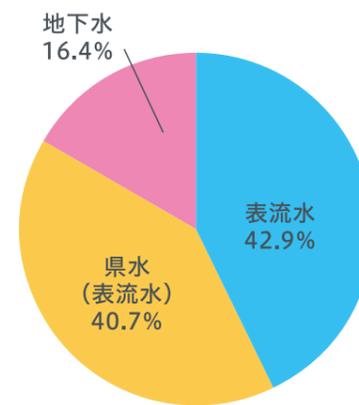


水循環の大まかな流れ

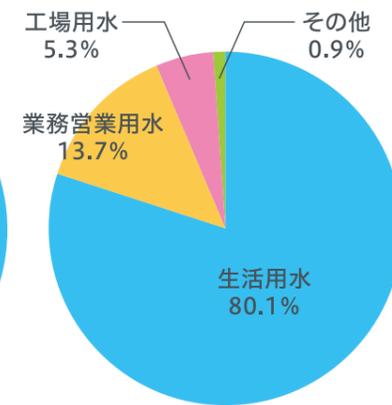


下水道事業 (P.11~)

加古川市の水道水の供給源は、約8割が表流水(加古川などの川の水)です。

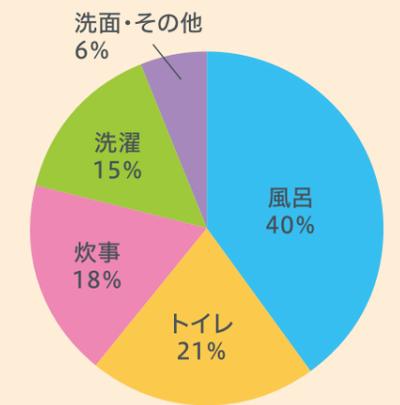


水源別給水状況 (平成30年度実績)



用途別使用水量 (平成30年度実績)

家庭での水の使われ方は、下のとおりです。



家庭用水量の内訳
出典:東京都水道局
「平成27年度一般家庭水使用目的別実態調査」

加古川市の水道事業

加古川市水道事業は、昭和26年2月に創設認可(計画給水人口:30,000人、計画一日最大給水量:5,400m³/日)を受けて、昭和28年に給水を開始しました。現在の計画給水人口は265,000人、計画一日最大給水量は111,500m³/日です。平成30年度末の水道普及率は99.4%となっており、給水予定区域は概ね整備が完了しています。

水道施設の紹介

① 取水口(表流水)

中西条浄水場では、加古川大堰から加古川の表流水を取り水しています。



加古川大堰

② 取水井(地下水)

中西条浄水場では、浄水場敷地内に3カ所の取水井があります。表流水とともに浄水処理を行っています。



取水井(中西条浄水場)

③ 浄水場

中西条浄水場では、取水した表流水と敷地内で取水した地下水などを急速ろ過方式により浄水処理をしています。また、県営水道の水道水についても、兵庫県企業庁から委託を受けて、浄水処理を行っています。



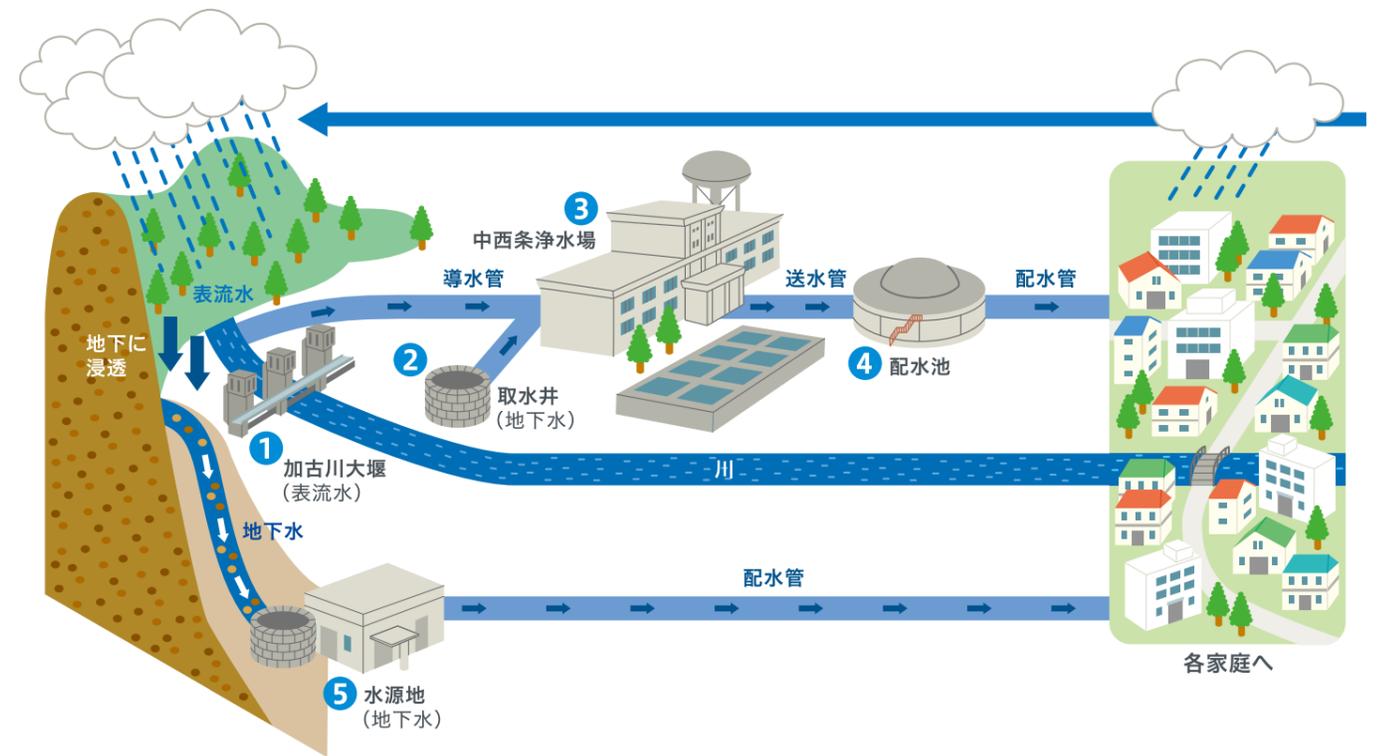
中西条浄水場

④ 配水池

中西条浄水場や各水源地で浄水処理した水は、配水池から各家庭や事業所に配水しています。



城山配水池



基幹管路の更新・耐震化

Pick up

加古川市では、昭和40年代から60年代にかけて整備した水道管が法定耐用年数の40年を超えてきており、今後水道管の老朽化が急速に進行します。特に基幹管路は地震などで破損した場合、市民生活に多大な影響を与える恐れがあります。そのため、老朽化した水道管は早急に更新し、耐震化を進める必要があることから、平成30年度に「老朽管更新(耐震化)計画」を策定し、計画的に管路更新を進めています。

⑤ 水源地

加古川市内には5カ所の水源地があります。神野水源地では、取水した地下水を中西条浄水場に送水し、浄水処理しています。神野水源地以外の4カ所(中津水源地、大野水源地、東神吉水源地、西部水源地)では、地下水をその場で浄水処理しています。



東神吉水源地



水道管布設替工事

中西条浄水場

中西条浄水場の概要 【所在地】加古川市八幡町中西条739番地
 【最大給水能力】93,700m³/日 【水源】表流水(加古川大堰)・地下水(浅井戸)
 【設備】①取水施設/取水井・沈砂池・取水ポンプ設備 ②浄水施設/薬品注入設備・着水井・フロック形成池・沈でん池・急速ろ過池 ③送水施設/浄水池・送水ポンプ設備 ④沈泥処理施設/汚泥槽・濃縮槽・機械脱水機・天日乾燥機 ⑤自家発電施設/発電機設備 ⑥運転管理施設/中央監視設備・受電設備・水質監視設備 等

水道水が安全であることは、水道の最も基本的な要素です。水源から蛇口に至るまでの過程における、安全な水の供給を確実にする水道システムを構築することによって、安全・安心な水を供給するとともに、より上質でおいしい水道水となるよう品質の向上に努めています。



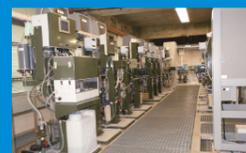
水道水の安全管理

Pick up

お客さまに水道水をお届けする前に、浄水処理された水が水質基準を満たすかどうか、厳しく検査しています。水質検査は、原水及び蛇口での水質基準、検査項目と検査回数を定めており、日々検査を実施して安全性を確認しています。

水質監視機器

浄水処理の段階ごとの濁度、残留塩素濃度及びpHなどを機械によって24時間連続監視しており、異常があればすぐに検出することができます。



給水モニター

各配水区の末端に給水モニターを設置し、濁度、色度及び残留塩素濃度を測定、監視をしています。測定したデータをもとに水道水の水質を常に管理しています。



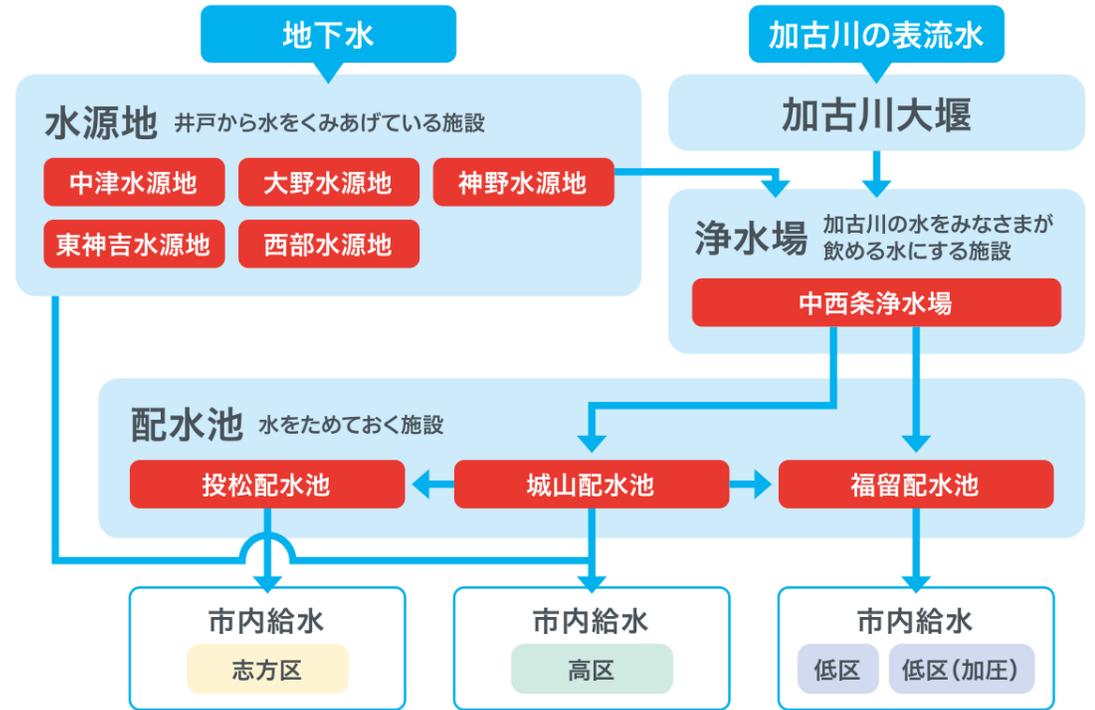
水質試験室

水道水が水質基準を満たすかどうか、厳しく検査しています。検査項目は水道法によって定められています。



配水系統

加古川市の水道施設は、浄水場(表流水)1カ所、水源地(地下水)5カ所、配水池9カ所、導・送・配水管延長約1,100kmとなっており、平坦な地形の中、自然流下だけでなく加圧ポンプ場などを設置し、市内3カ所の配水区(高区、低区、志方区)へ給水しています。



水道施設マップ



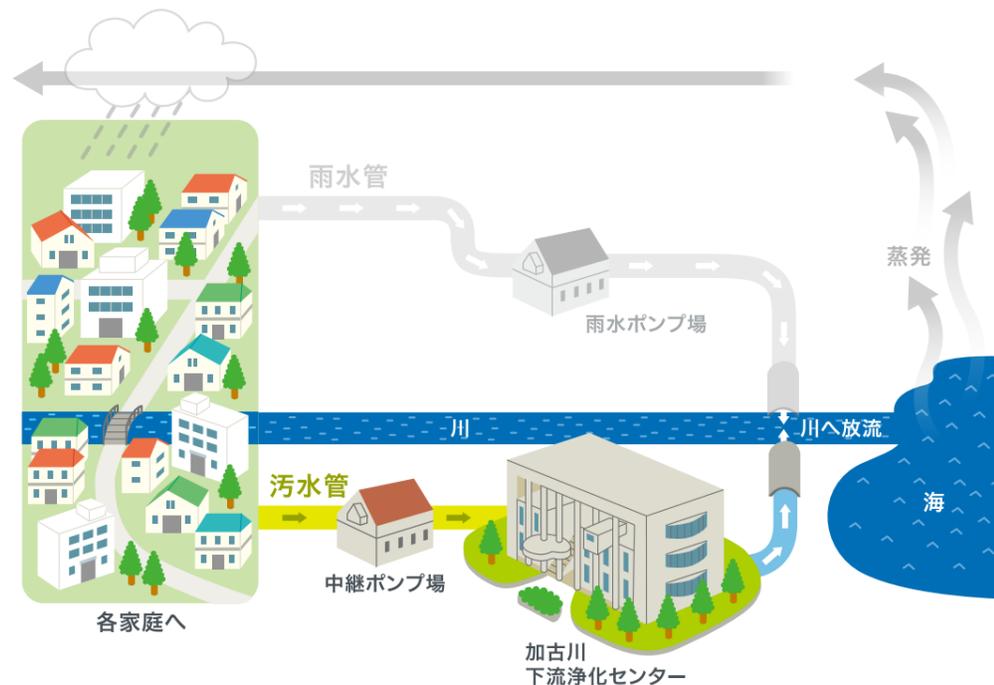
下水道の仕組み ~汚水の処理~

普段は目にすることのない下水道ですが、見えないところで私たちの快適な生活を支えています。私たちが家庭で使って汚れた水(汚水)は、家の下にある排水管を通して下水道管に流れ、下水処理場に運ばれていきます。下水道が整備されていることで、ハエや蚊等の虫や悪臭の発生も防ぐことができ、清潔な生活環境を保つことができます。また、汚水処理をしてきれいになった水を放流することにより、環境を守るという役割も果たしています。

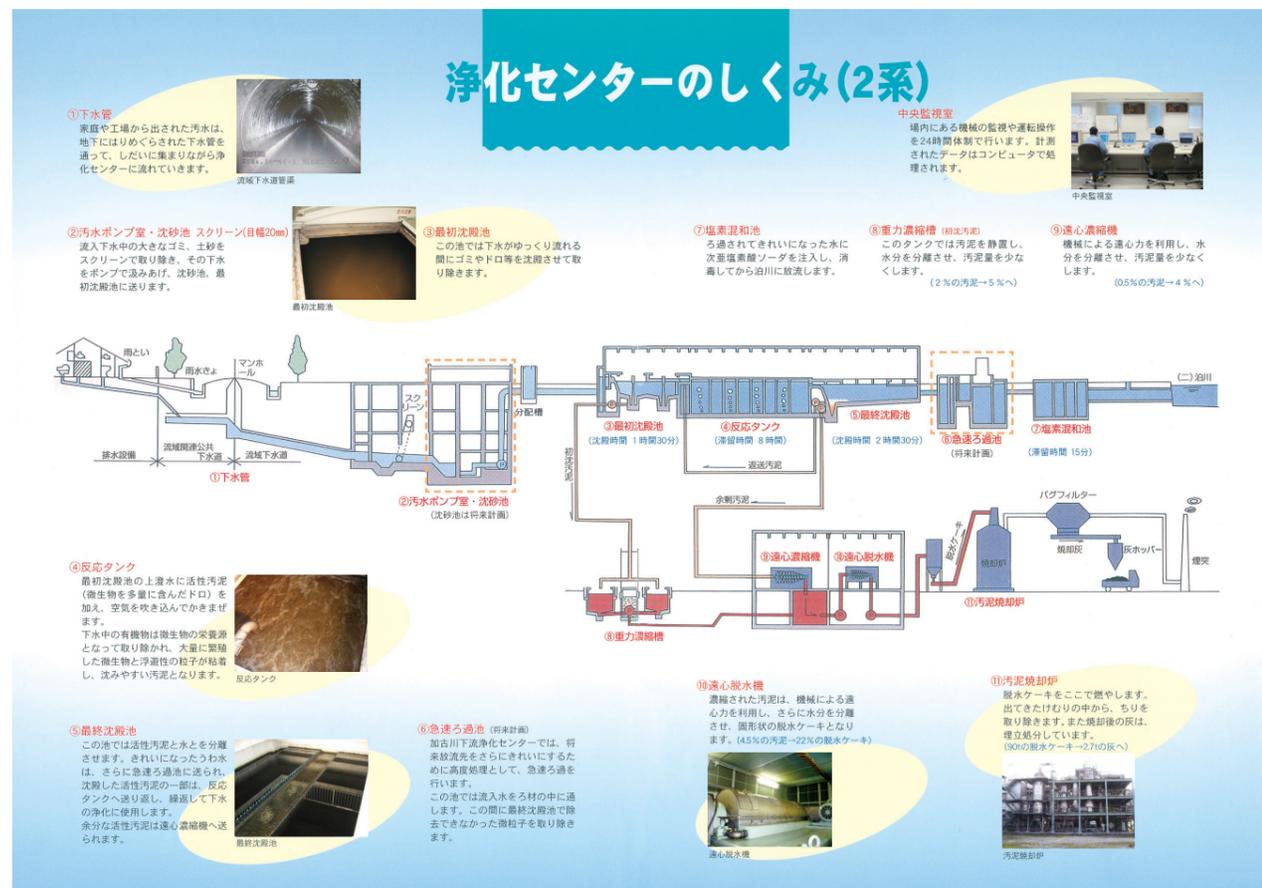
加古川下流浄化センター

加古川下流浄化センターは、加古川市・高砂市・稲美町及び播磨町の2市2町のうち、約7,000haを計画処理区域としています。平成4年6月に一部供用を開始し、現在は159,900m³/日(日最大)の処理能力を有しています。

所在地:加古川市尾上町養田 管渠延長:24.8km(流域幹線)
 排除方法:分流式(一部合流式) 水処理方式:標準活性汚泥法+高度処理
 汚泥処理方法:分離濃縮+脱水+燃却 敷地面積:17.74ha 放流先:泊川



加古川下流浄化センターは兵庫県が管理を行っています。



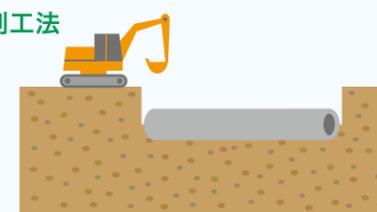
出典:加古川下流浄化センターパンフレット

下水道(汚水)管渠布設工事の工法

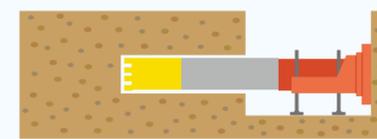
Pick up

下水道管渠布設工事の施工方法は、大きく分類すると開削工法と推進工法に分かれます。開削工法は、地盤を直接掘削して、下水道管渠を布設していきます。掘削深さが比較的浅いところで用いられる一般的な工法です。一方、推進工法は、布設深さが深いところや交通量の多いところ、地下埋設物が支障になるところで、道路を掘削せずに掘り進みながら、下水道管渠を布設していきます。

開削工法



推進工法



安田中継ポンプ場

Pick up

下水道は地形の勾配により自然流下で流す仕組みとなっています。しかし、地形の状況によっては自然流下させることが困難な場合があり、その際にポンプ場を設置し、汚水を汲み上げて再度自然流下により流しています。



下水道の仕組み ～雨水の処理～

地表に降った雨は、そのまま地面に浸透したり、雨どいや道路側溝から下水道や水路などを通して河川や海に放流されています。

近年、短時間での局地的豪雨が頻繁に発生しており、また宅地化の進展により農地が減少するなど、都市の保水機能が低下しています。そのため、短時間で急激に河川等の水位が上昇し、浸水被害のリスクが増加しています。

そこで、これまでの「ながす」対策（河川下水道対策）に加え、雨水を一時的に「ためる」対策（流域対策）や、浸水してもその被害を軽減する「そなえる」対策（減災対策）、この3つの観点を組み合わせた「加古川流域圏地域総合治水推進計画」を兵庫県が策定し、加古川市もこれに基づき総合治水対策に取り組んでいます。加古川市では、7年に1回の確率で発生する1時間あたりの最大降雨量44mmを想定し、下水道事業における「ながす」対策として、雨水幹線や支線、雨水ポンプ場の整備を進めています。これらの整備を進めることにより、市街地に降った雨を河川等へ排水する能力が向上し、浸水被害の軽減が図られています。

また、「ためる」対策として、貯留施設の整備を進めており、降雨ピーク時の流量を軽減させることで既存水路への急激な流量増加を抑えています。

更に、計画降雨量を超える集中豪雨などに対しては、下水道整備だけではなく、関連施設の増強や公的機関での雨水流出抑制対策など、国・県・その他の行政機関及び市民の皆さまとの連携を強化し、状況に応じた効果的、効率的な対策を推進しています。



「ながす」対策 雨水幹線整備

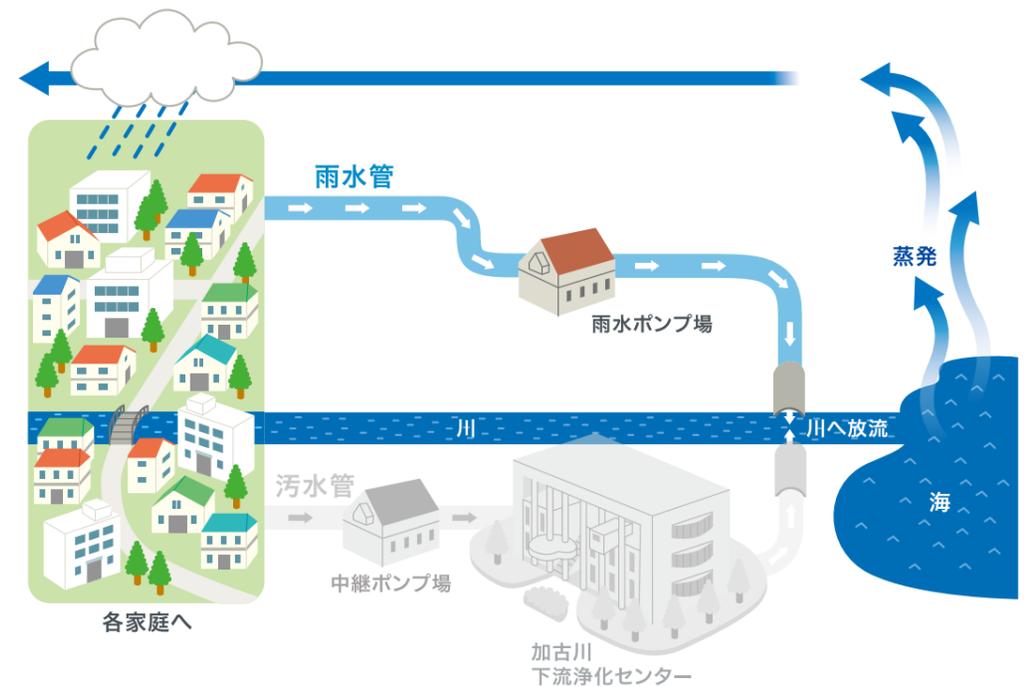
既設水路を雨水幹線として整備しています。断面積を大きくすることで流量を増加させ、周辺の浸水被害の軽減を図っています。



整備前



整備後



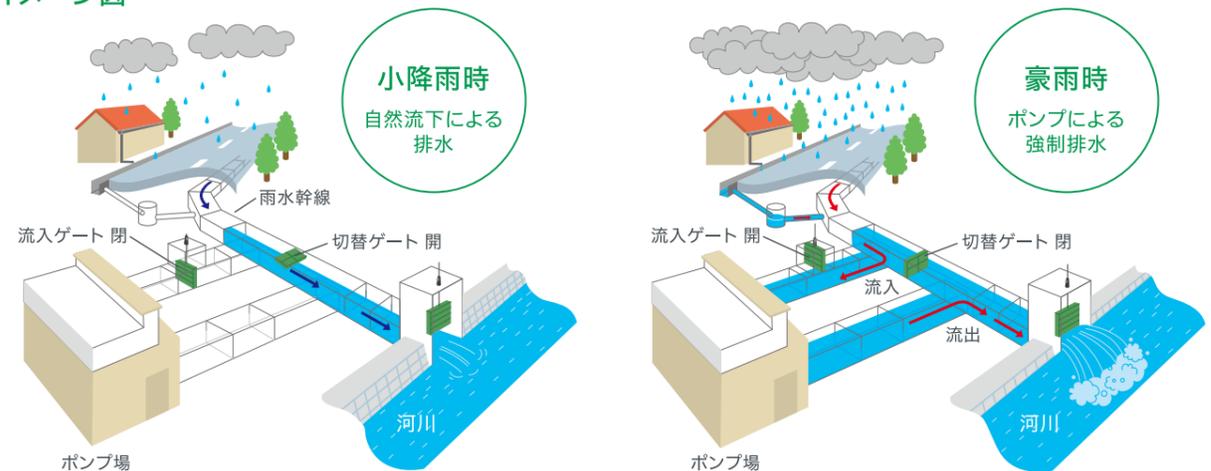
「ながす」対策 雨水ポンプ場の設置

雨が降っていても、川の水位が低いときは、自然流下により排水しています。しかし、上流域が豪雨となり、下流域の水位が高くなったときは、逆流を防ぐため、ポンプにより強制的に排水しています。



神野団地雨水ポンプ場

イメージ図



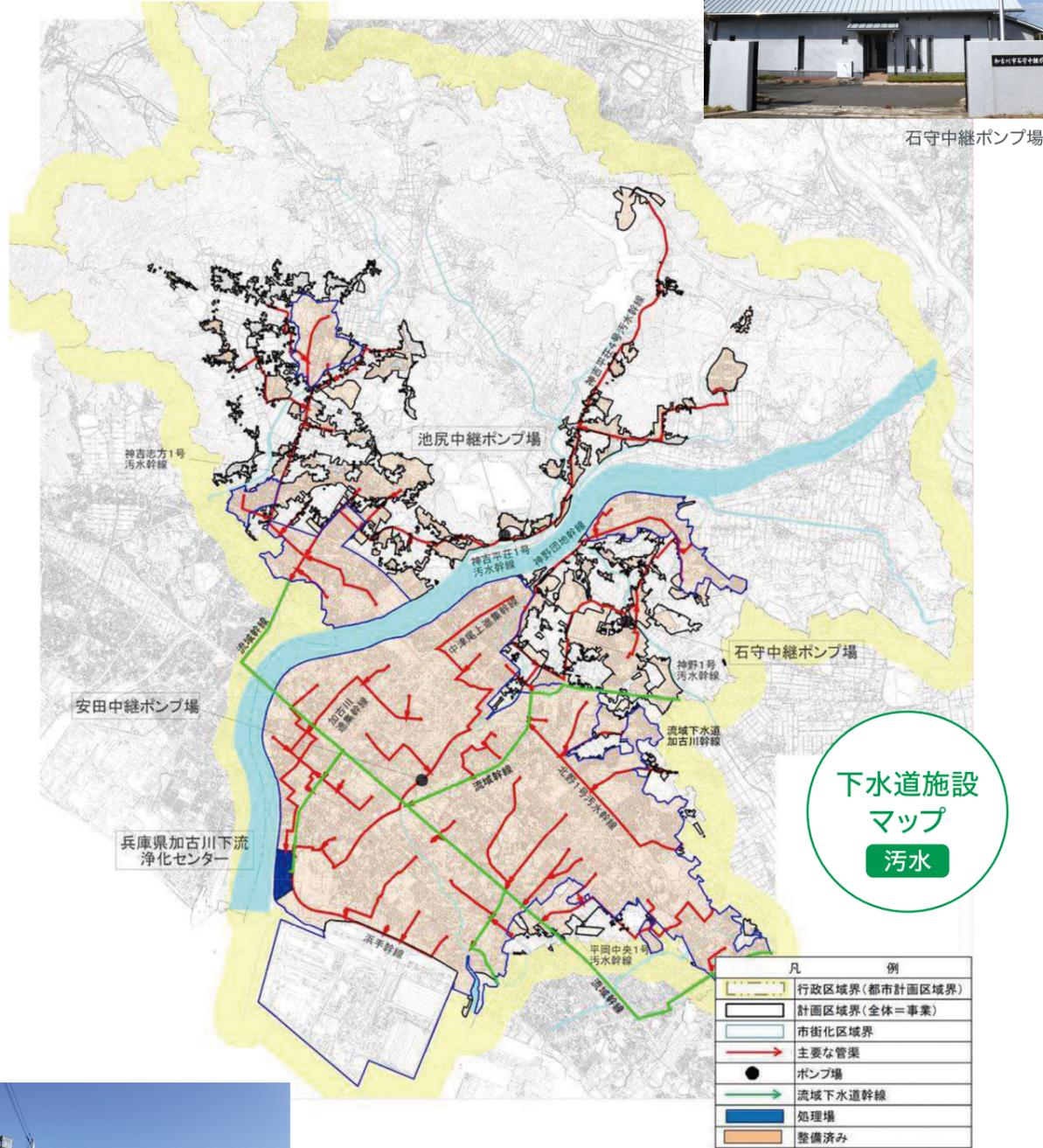
「ためる」対策 貯留施設の設置

貯留施設を設置することで、降雨後の流出量を一時的に抑えることが可能となり、周辺土地や下流域への負担が軽減されます。



加古川分区分留槽

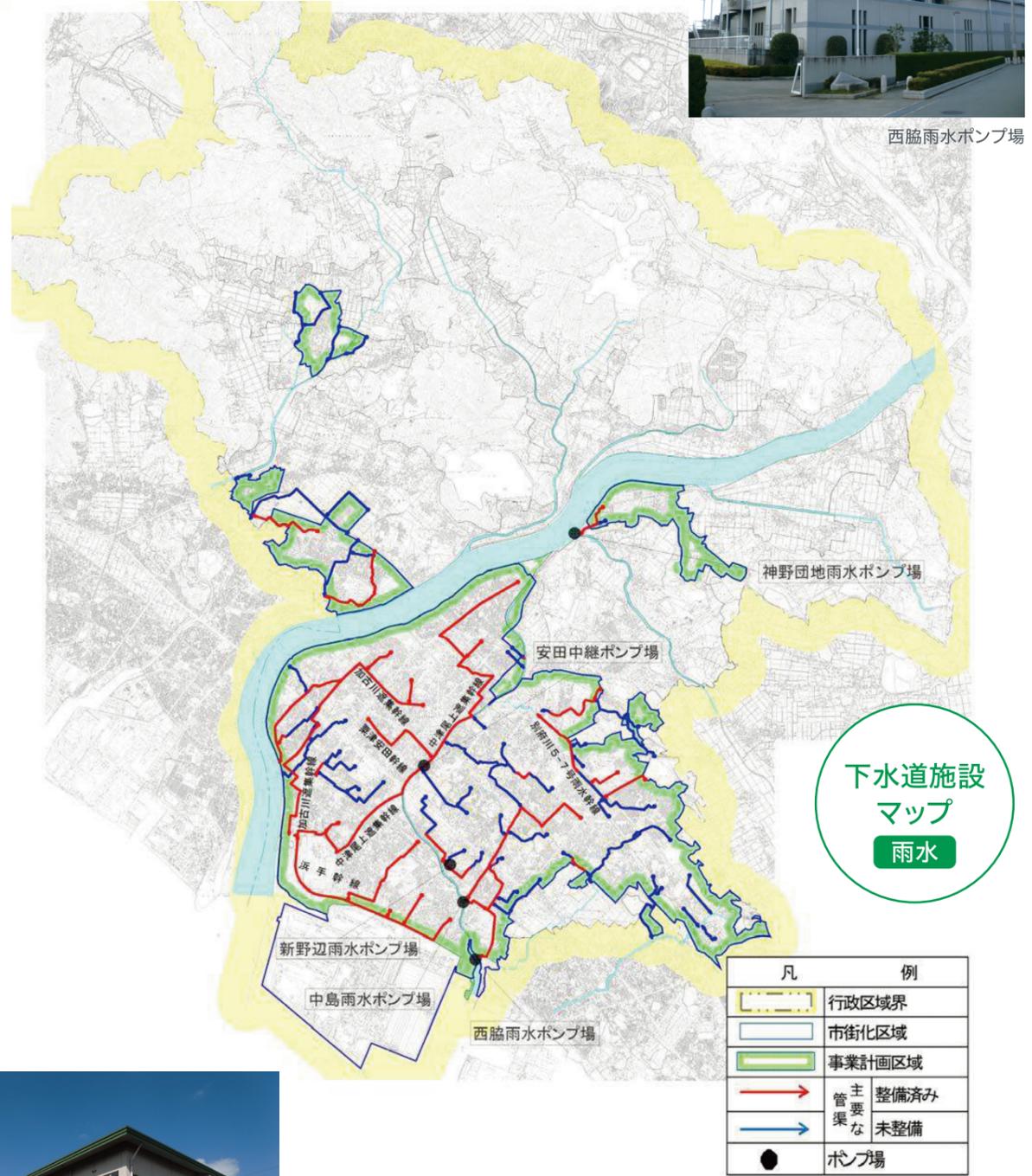
下水道施設マップ



石守中継ポンプ場



池尻中継ポンプ場



西脇雨水ポンプ場

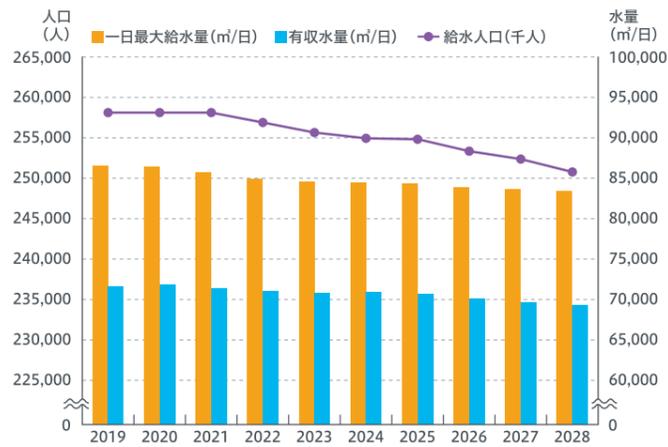


新野辺雨水ポンプ場

上下水道事業の経営

近年、水道事業及び下水道事業を取り巻く経営環境は、節水機器の普及、人口減少、ライフスタイルの変化に伴い水需要が減少傾向にある一方、老朽化した施設・管路の更新・耐震化などの多額の設備投資が必要となるなど、一段と厳しさを増しています。下記のグラフは水道事業及び下水道事業の将来の見通しを示したものです。

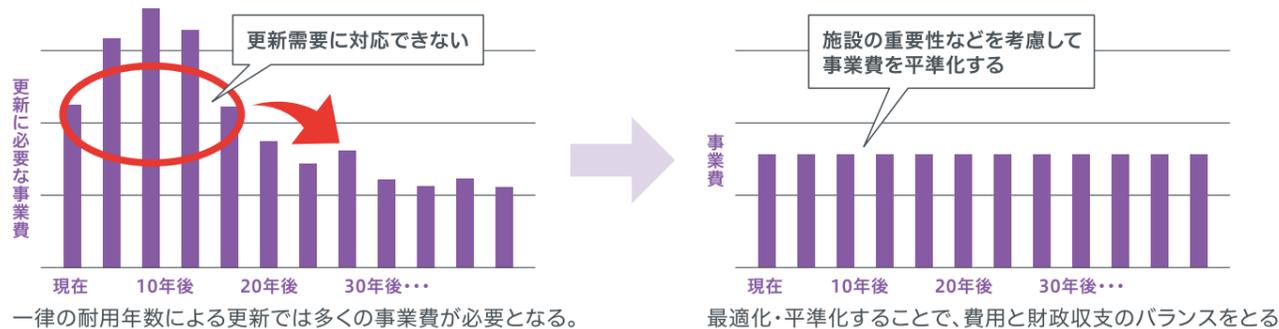
水道事業 給水人口・有収水量の将来の見通し



下水道事業 水洗化人口・有収水量の将来の見通し



水需要の減少に伴い、今後料金収入の減少が見込まれるなどの厳しい状況の中で、施設・管路の更新などを計画的に実行し、持続可能な経営を行うためには、長期的な視点で水道施設・下水道施設のライフサイクル全体にわたって効果的・効率的に管理運営する必要があります。そこで、使用可能な施設や管路等の設置環境や劣化度、重要度、維持管理状況などを勘案したうえで、更新サイクルを延長し、さらに更新費用の平準化を図るなど、アセットマネジメント※に基づく経営に取り組めます。



事業費の最適化・平準化のイメージ

※アセットマネジメント 中長期的な視点に立ち、施設のライフサイクル全体にわたって効果的かつ効率的に施設・管路を管理運営するために体系化された取組み。

災害に備えて

水道・下水道は、市民生活や地域の社会経済活動に欠かせないライフラインです。平常時はもとより、地震などの災害時においても一定の給水を確保するなど機能の維持を図るため、施設や管路の耐震化や自家発電設備の設置を進めるとともに、業務継続計画(BCP)に基づく訓練の実施、他の自治体や関係機関との応援協定の締結など、ハード・ソフト両面から対策を行っています。

給水車

災害・事故等により水道施設が破損して断水した時などに、病院・避難所等へ飲料水を運搬します。加古川市上下水道局では、1.8t車と2.0t車の2台を備えています。



ボトルドウォーター「加古のめぐみ」

災害や断水への備えとして、飲料水の備蓄の重要性はますます高まっています。「加古のめぐみ」は加古川市の水道水を使用しており、10年間保存可能な災害用備蓄水です。被災地への支援物資としても活用しています。



非常用給水袋

断水時に水を配るための袋で6リットルまで水を入れることができます。付属の背負い紐を使うことで年齢を問わず持ち運びできます。



備蓄用の飲料水は3日分準備しよう。1人1日3リットルが目安だよ。

近隣市町との相互連絡管

加古川市と市域が隣接する明石市、高砂市、稲美町、播磨町には、相互に通水できるように相互連絡管を整備しており、災害時に水を融通できるように協力体制を整えています。



応援協定の締結

兵庫県や各市町、事業者などと災害等における応援協定を締結しています。

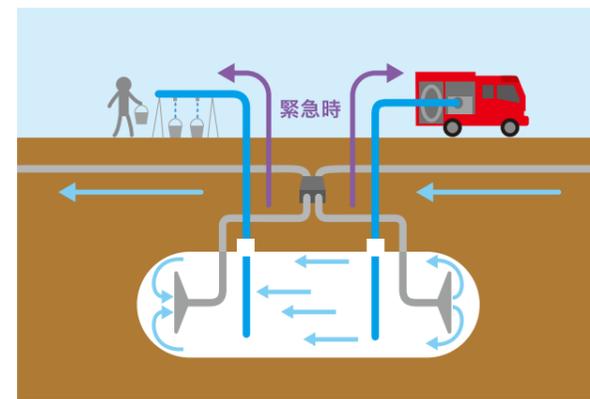


災害用応急給水栓

断水時に避難所においてできるだけ早く水道水を届けるため、市内の避難所26カ所に順次整備を進めています。簡単な作業で組み立てることができ、いち早く給水を開始することができます。



今までのページで紹介した水道の仕組み・下水道の仕組みも、防災対策につながっているんだよ



お客さまサービスの充実をめざして

水道庁舎1階にある水道お客さまセンターでは、水道の使用開始届・中止届の受付や検針及び料金収納等の業務を行っています。平成16年12月から民間事業者に業務を委託し、平日だけでなく休日(1月1日～3日は除く)にも業務を行う等、お客さまサービスの向上や事業経営の効率化を進めています。

また、配水管から水道メーターまでの給配水管漏水時の修繕業務等も委託しています。

なお、令和2年度より、お客さまサービスのさらなる向上のため、給水装置関連業務や排水設備関連業務も、水道お客さまセンター業務として委託を進め、上下水道に関する手続きのワンストップサービス化を図っています。



水道料金・下水道使用料 料金表

加古川市の水道料金・下水道使用料の料金体系は次のとおりとなっています。

●水道料金(2か月につき) (水道料金 = (基本料金 + 従量料金) × 1.1 (消費税分))

口径(mm)	13	20	25	40	50	75	100	150	200	300
基本料金	10m ³ まで 1,690円	10m ³ まで 1,890円	10m ³ まで 2,820円	13,200円	21,600円	48,400円	84,400円	191,900円	304,900円	876,000円
一般用 従量料金	10m ³ を超え20m ³ まで 1m ³ につき33円			40m ³ まで1m ³ につき125円						
	20m ³ を超え40m ³ まで 1m ³ につき125円									
				40m ³ を超え100m ³ まで1m ³ につき		174円				
				100m ³ を超え500m ³ まで1m ³ につき		239円				
				500m ³ を超える分1m ³ につき		256円				
湯屋用				基本料金+1m ³ につき		93円				
臨時用				基本料金+1m ³ につき		435円				

●下水道使用料(2か月につき) (下水道使用料 = (基本料金 + 超過料金) × 1.1 (消費税分))

汚水の種別	使用料				
	基本料金	10m ³ まで 1,800円			
一般汚水	超過料金 (1m ³ につき)	10m ³ 超20m ³ まで	40円	300m ³ 超500m ³ まで	270円
		20m ³ 超50m ³ まで	120円	500m ³ 超1,000m ³ まで	320円
		50m ³ 超100m ³ まで	170円	1,000m ³ 超2,000m ³ まで	370円
		100m ³ 超300m ³ まで	220円	2,000m ³ を超える分	420円
公衆浴場汚水	従量料金	1m ³ につき 78円			

広報紙「かこ水だより」の発行

加古川市の上下水道事業について理解を深めてもらうため、若手職員で構成した広報プロジェクトチームが中心となって作成しています。今後も年2回程度発行し上下水道に関する様々なお知らせを発信していきます。バックナンバーは上下水道局HPに掲載しています。



Pick up

水道のあゆみ

昭和25年6月に加古川町、神野村、野口村、平岡村、尾上村が合併して市制を施行。これを契機に上水道布設の機運が高まり、昭和28年4月15日に上水道の給水を開始しました。その後、市の発展に伴う人口の増加や生活様式の変化などによって、水需要も大きく伸びていきました。これに応えるため4回にわたり事業を拡張していきました。



加古川町における配水管布設工事

昭和25年 12月	市議会で水道布設事業が可決	昭和62年 4月	福留配水池の供用を開始
昭和26年 2月	厚生省から水道創設事業の認可を得る	昭和63年 11月	東神吉水源地からの給水を開始
昭和28年 4月	中津水源地からの給水を開始	昭和63年 12月	加古川の水利権40,000m ³ /日の許可を得る
昭和36年 12月	第1次拡張事業認可(給水人口の変更)	平成元年 2月	加古川大堰からの取水及び県営水道からの受水を開始
昭和42年 5月	神野水源地からの給水を開始	平成10年 4月	播磨町との連絡管設置 (その後、明石市、高砂市、稲美町との連絡管も設置)
昭和44年 2月	第2次拡張事業認可(大野水源地新設)	平成16年 7月	水道お客さまセンター開設
昭和46年 5月	大野水源地からの給水を開始	平成16年 12月	水道お客さまセンター業務の一部を民間事業者に委託 (平成17年4月から全面委託)
昭和48年 3月	第3次拡張事業認可 (中西条水源地・東神吉水源地新設)	平成17年 4月	中西条浄水場運転管理業務の一部を民間事業者に委託
昭和49年 10月	中西条水源地に浄水施設が完成 水道庁舎が完成	平成21年 3月	加古川市水道ビジョン2018策定
昭和49年 12月	中西条水源地からの給水を開始	平成21年 11月	水道庁舎移転(野口町良野398-1へ)
昭和51年 1月	城山配水池が完成	平成22年 12月	西部水源地からの給水を開始
昭和54年 2月	水道事業所を水道局に名称変更	平成27年 4月	水道局と下水道部を上下水道局に組織統合
昭和55年 7月	加古川大堰建設基本計画 (新規水利権40,000m ³ /日)に同意	平成31年 3月	中西条浄水場運転管理業務を民間事業者に全面委託 加古川市水道ビジョン2028策定
昭和56年 4月	中西条浄水場に浄水施設を増設		
昭和57年 3月	第4次拡張事業認可		

下水道のあゆみ

加古川市下水道事業は、昭和38年10月に尾上処理区において事業着手し、昭和42年6月に供用開始しました。その後整備区域を拡大し、市街化区域の下水道整備は概ね完了しました。令和7年度を目標に市街化調整区域における下水道整備を進めています。

昭和38年 10月	公共下水道の事業認可及び事業着手 (尾上処理区)	平成 7年 9月	特定環境保全公共下水道事業に着手
昭和41年 6月	神野団地雨水ポンプ場を 県より譲渡される	平成 9年 10月	西脇雨水ポンプ場の供用開始
昭和42年 4月	加古川市下水道条例制定	平成13年 6月	池尻中継ポンプ場の供用開始
昭和42年 6月	尾上終末処理場が一部完成 尾上処理区の一部を供用開始	平成15年 8月	石守中継ポンプ場の供用開始
昭和47年 3月	安田中継ポンプ場の供用開始	平成20年 3月	別府川13-5号雨水幹線整備工事完成
昭和57年 8月	中島雨水ポンプ場の供用開始	平成27年 3月	公共下水道整備区域の見直し
昭和62年 11月	加古川下流域下水道事業認可	平成27年 4月	地方公営企業法適用及び水道局と組織統合 加古川市下水道ビジョン策定
昭和63年 4月	加古川下流域関連公共下水道の事業認可	平成31年 3月	加古川市下水道ビジョン2028策定
平成 6年 3月	新野辺雨水ポンプ場の供用開始		
平成 6年 12月	市街化調整区域の一部を特定環境保全公共 下水道事業として事業認可		

水道ビジョン2028 指標

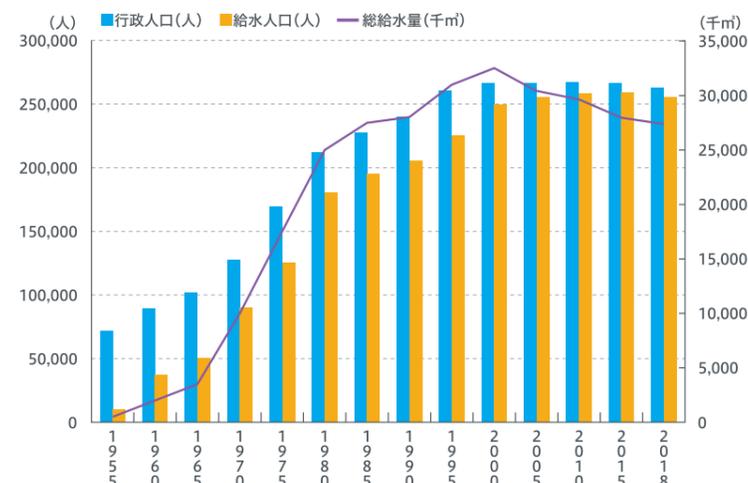
目標	指標名	現状 (平成29年度)	中間目標値 (令和5年度)	最終目標値 (令和10年度)
安全・安心な水づくり	水質基準不適合率	0%	0%	0%
水道水の品質の向上	平均残留塩素濃度	0.41mg/ℓ	0.40mg/ℓ以下	0.40mg/ℓ以下
	最大カビ臭物質濃度 水質基準比率	80%	40%	40%
	浄水施設の耐震化率	12.1%	12.1%	78%
施設の更新・耐震化	配水池の耐震化率	20.8%	20.8%	100%
	基幹管路の耐震化率	22.5%	36%	50%
管路の更新・耐震化	配水支管の耐震化率	26.6%	28%	30%
	上下水道BCPに基づく 訓練の実施回数	0回/年	2回以上/年	2回以上/年
危機管理体制の構築	災害用応急給水栓	1カ所 (平成30年度)	25カ所	25カ所
	施設の機能維持	有収率	95.8%	95.0%以上
持続可能な経営	経常収支比率	118.7%	100%以上	100%以上
	料金回収率	97.8%	100%以上	100%以上
お客さまとの コミュニケーション	広報誌発行回数	0回/年	2回/年	2回/年
	アンケートの実施	0回/年	定期的に実施	定期的に実施

下水道ビジョン2028 指標

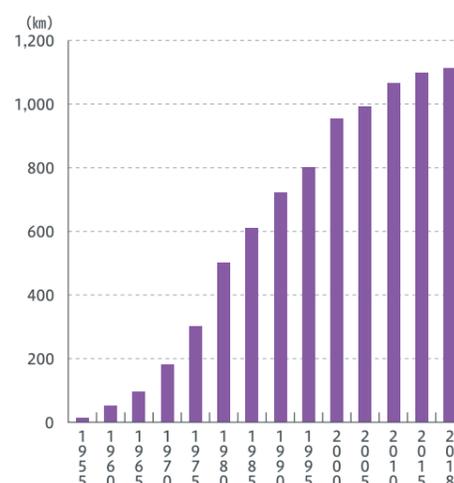
目標	指標名	現状 (平成29年度)	中間目標値 (令和5年度)	最終目標値 (令和10年度)
下水道普及率の向上	下水道普及率	91.1%	92.7%	95.5%
	生活排水処理率	94.8%	97.6%	100%
良質な水環境の確保	水洗化率	95.1%	97.6%	100%
災害への備え	雨水整備率	45%	48%	51%
	ポンプ場の耐震評価診断	未実施	一部実施	実施
	上下水道BCPに基づく 訓練の実施回数	0回/年	2回以上/年	2回以上/年
管渠・施設の機能維持	管渠の巡視点検の実施回数	不定期に実施	1回以上/5年間	2回以上/10年間
	陥没事故件数	0件	0件	0件
持続可能な経営	経常収支比率	113.1%	100%以上	100%以上
	経費回収率	102.3%	100%以上	100%以上
お客さまとの コミュニケーション	広報誌発行回数	0回/年	2回/年	2回/年
	アンケートの実施	0回/年	定期的に実施	定期的に実施

目で見える水道データ

人口・給水人口・年間総給水量

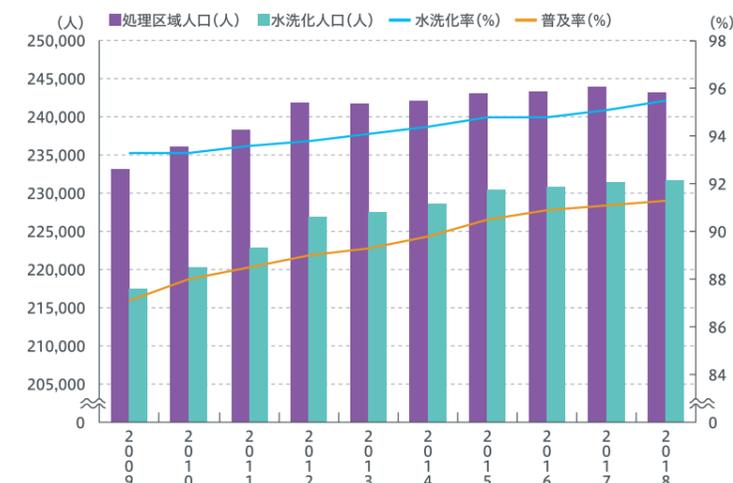


管路延長



目で見える下水道データ

処理区域人口・水洗化人口・水洗化率・普及率



管渠延長

